

いがの木を使ったパンフレット棚製作

～「みえ森と緑の県民税」を活用した取組～

三重県立伊賀白鳳高等学校工芸部



製作の様子（工芸部の焼印）



ヒノキとクルミで製作したパンフレット棚3台



棚の引き出し



プレゼンテーション



ねらい

- ・ 地元の木材（ヒノキ）の良さを知り、木工の技術を向上させる
- ・ 主体的に取り組む力を育て、プレゼンテーション能力を高める
- ・ 地域の高校生の活躍により、地域を明るく元気にする

取組内容

三重県の高校で唯一、木工を中心としたインテリアから建築まで学べる学科があり、その工場で工芸部は活動しています。

今回、伊賀・名張にある3つの農作物販売所（ういの丘、ひぞっこ、こうづの郷）からパンフレット棚の製作依頼を受け、現地にて要望聞き取りを行ないました。その意見を踏まえ、部員全員がアイデアを出し合い、デザインを完成させました。また、CADを使用し設計図面に起こしました。彼らが考えたコンセプトは、「誰にでも見やすくパンフレットが取りやすいこと」、「場所に応じて様々な使い方ができること」の二つです。材料は、いがの木で美しいヒノキを使用し、木工機械やカンナ、ノミといった手道具で製作しました。意見交換会や完成披露会などが開催され、部員自らプレゼンテーションを行いました。とても緊張していましたが、大勢の前で発表する機会は、良い経験になりました。また、販売所の方に喜んでいただけて、部員達も嬉しかったようです。

内容	木工
時間	毎日放課後 2 ～ 3 時間程度 (約 8 ヶ月)
場所	工芸/建築デザイン科棟
対象	工芸部 1、2、3 年生 14 人
講師	伊賀白鳳高等学校教員
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した伊賀市事業 「森のやすらぎ空間整備事業」

【先生のコメント】 本校工芸部は、「主体的に考えるものづくり」を目指して、生徒自らが家具や彫刻作品など制作をしています。

今回のプロジェクトを通して、地元の木の美しさや良さを知ることや、製作を通してものづくりの楽しさだけでなく、使い手のニーズにあったものづくりの大切さや、ものを大切にする気持ちなど、豊かな心を育みました。半年以上かけて取り組み、試行錯誤しながら完成させた部員達の姿は、ひとまわり人間的に大きくなったように見えます。今回の活動が、人生のあらゆる場面で活かされることを祈っています。